

令和9年(2027年)12月開館

新しい滋賀県立琵琶湖文化館

Biwako Bunkakan Museum



近江の文化財で
“つなぐ”“ひろく”
未来の滋賀

つなぐ
人と地域

滋賀県の歴史と
風土への関心

つなぐ
歴史と未来

文化財が持つ
価値の継承

つなぐ
滋賀と世界

世界への
魅力発信

スケジュール

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

令和9年度

設計

建設

開館準備

12月
開館

整備手法

■新しい琵琶湖文化館の整備運営は、PFIにより、滋賀県と株式会社琵琶湖C&S (SPC) が共同で行います。

事業者	株式会社琵琶湖C&S (SPC、県内企業を含む全10社)
代表企業	株式会社丹青社
設計	安井建築設計・隈研吾建築都市設計共同企業体、株式会社丹青社
建設	大林組・笹川組建設工事共同企業体、株式会社丹青社
監理	安井建築設計・隈研吾建築都市設計共同企業体
開館準備維持管理	大林F・アヤハ共同企業体、ALSOK株式会社
開館準備文化観光等	丹青社・アクティオ共同事業体
プロジェクトマネジメント	株式会社丹青社
SPC管理等	NECキャピタルソリューション株式会社

事業手法	PFI (BTO方式)
事業期間	令和5年(2023年)10月～令和24年(2042年)3月末日 ※18年6か月
主な業務分担	滋賀県：学芸業務等(収集・保管、展示、調査・研究、教育普及、広報、地域の文化財の保存活用)、事業実施状況の監視等(設計・建設に係るモニタリングを含む) SPC：施設整備業務、開館準備業務、維持管理業務、文化観光等業務

※PFI(Private Finance Initiative)

民間の資金と経営能力・技術力等を活用し、公共施設の設計・建設・維持管理・運営を行う官民連携の事業手法のひとつ

※SPC(Special Purpose Company 特別目的会社)

特定の事業を営むために設立された会社

※BTO(Build Transfer Operate)

SPCが設計・建設後、県に施設の所有権を引き渡し、事業終了期間までの維持管理・運営を行う方式

目指す施設像

「近江の文化財を保存・継承・活用・発信する中核拠点」

近江の文化財を中心とする

ミュージアム

- 「近江の文化財」の調査・研究、収集・保管、展示公開を実施
- 文化財や文化財を生み出した自然・風土を通じ、滋賀の美の魅力を発信



日吉祭礼図 生源寺薬師・生源寺希烈(江戸時代後期 琵琶湖文化館蔵)

地域の文化財の

サポートセンター

- 地域の文化財の守り手、市町、県内博物館等との連携
- 地域の文化財の価値や魅力を活かして活用するための支援を実施



県内寺院での展示公開のサポート

文化観光拠点となる

ビジターセンター

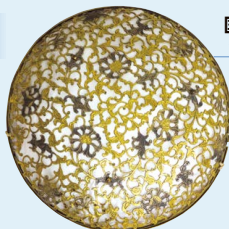
- 様々な文化財を生み出した滋賀の魅力を国内外へ発信
- 広域に文化財が点在する滋賀全体のインフォメーションセンターとしての役割を担い、来館者の県内各地への周遊を促進



文化財講座での現地探訪

現在の琵琶湖文化館

休館中の現在も、国宝2件、重要文化財54件をはじめとする貴重な文化財を収蔵し、収蔵品の保存管理を中心に他館での展示公開活動・文化財講座・情報発信等の活動を継続しています。



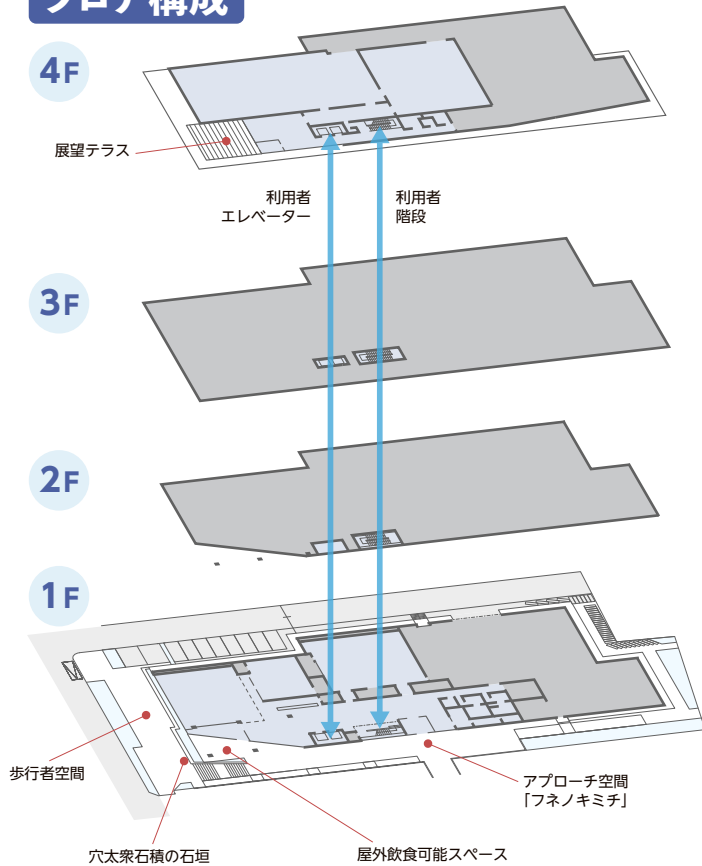
国宝 金銀鍍透彫華籠
(平安時代 長浜市・神照寺蔵)

地域連携企画展
「琵琶湖文化館の『博物誌』
浮城万華鏡の世界へ、ようこそ!」
令和2年(2020年) 滋賀県立安土城考古博物館

※滋賀県内の博物館施設等と共同で、「地域連携企画展」を開催。

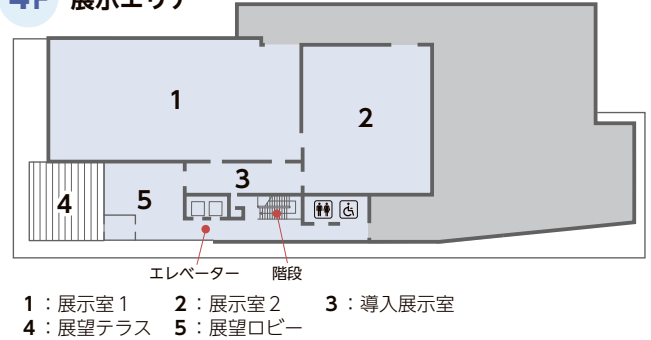


フロア構成



来館者スペース

4F 展示エリア



1F 交流エリア



建築概要

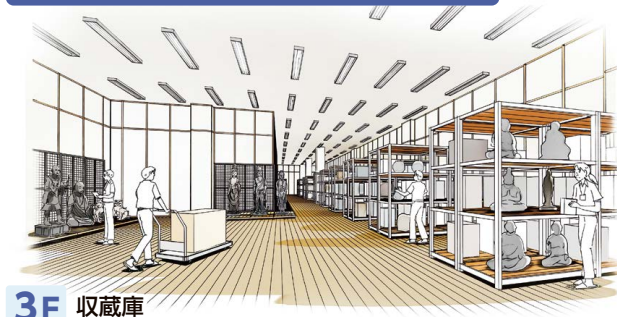
※確認申請時点

所 在	大津市浜大津五丁目1-1の一部、浜町2-1の一部
建築面積	2,362.01㎡
延床面積	6,644.23㎡
敷地面積	3,000.00㎡
階 数	地上4階
最高高さ	26.67m
構 造	RC造(一部S造、SRC造)

階別面積

フロア	主 要 室	床 面 積	階 高
1F: 交流エリア	エントランスホール/講堂/研修室/ショップ インフォメーションラーニングゾーン/飲食可能スペース アプローチ空間「フネノキミチ」/キッズスペース・授乳室	1754.38㎡	4.20m
2F: 事務エリア		703.18㎡	4.20m
3F: 収蔵エリア	収蔵庫(床面積: 約1,500㎡)	2266.22㎡	6.15m
4F: 展示エリア	展示室1・展示室2(床面積: 約850㎡)/導入展示室 展望テラス/展望ロビー	1899.66㎡	6.00m

文化財を守り継承する施設

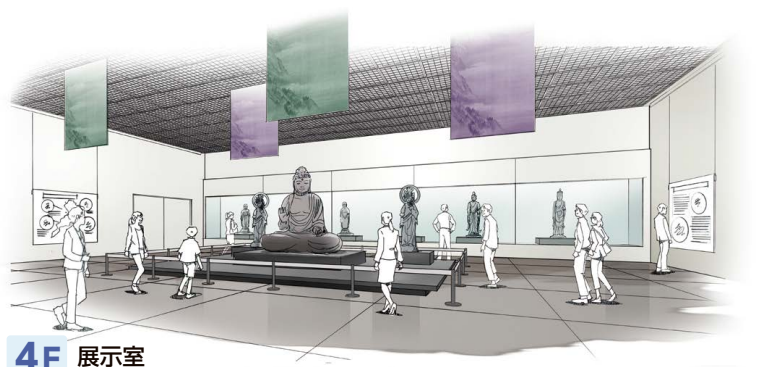


3F 収蔵庫

- 建物全体で免震効果が得られる基礎免震構造を採用します。
- 全ての諸室を琵琶湖浸水想定レベルよりも高く計画します。
- 文化財保護法の「公開承認施設」レベルの博物館を目指します。

1F 文化財緊急保管庫

災害等により、破損の恐れのある文化財を他の収蔵品と区分して、搬入口に直接つながり緊急的・一時的に保管する文化財緊急保管庫を設置します。



4F 展示室



4F 展示室

周辺環境と調和し、親しまれる交流空間

- 「湖国の夢と滋宝を未来に伝える希望の船」をコンセプトに、まち・湖・文化財・人をつなぎ、新たな交流と賑わいを創り出します。
- 来館者の動線に沿って穴太衆石積の技法を活用した石垣を配置します。

ユニバーサルデザイン

- あらゆる来館者の安全・快適な利用を目指し、バリアフリートイレ・キッズスペース・授乳室等を設置します。



1F インフォメーションラーニングゾーン

文化財巡りを楽しむための情報提供の場。びわ湖フローティングスクールの受け入れも想定し、子どもたちを連れて利用しやすい場をつくる。



映像展示や直接手で触れることができる体験型展示を中心に、子どもから大人まで気軽に近江の歴史や文化・観光に親しむ機会を提供。



1F フネノキミチ

建物の上階を大きく張り出させた軒下のような空間。施設南北の行き来を可能にする。



1F エントランスホール

県産木材を利用したぬくもりのあるエントランスホール。



4F 展望テラス

琵琶湖とその奥に連なる山々を望む展望テラスを設け、来館者に歴史・文化財と滋賀の風土とのつながりを感じていただく。



1F 屋外飲食可能スペース

ショップで購入した飲食物は隣接するスペースで飲食することが可能。



1F 講堂・研修室

講堂・研修室は会議・講演会・コンサート・展示会等の会場としての貸出も予定。

環境負荷低減

- 内装材の一部に県産の木材を使用します。
- 博物館用途に最適な省エネルギー手法と自然エネルギーを活用します。
- ZEB-Readyを達成し、次世代の環境配慮型博物館を実現します。

※ZEB-Ready

建築物の一次エネルギー消費量を標準的な基準値から50%以上削減すること

京阪びわ湖浜大津駅側からみた外観

外観デザインは希望の船をイメージ。

新しい琵琶湖文化館の開館に向けて



滋賀県知事 三日月 大造

滋賀県立琵琶湖文化館は、昭和36年(1961年)に美術館・博物館・水族館・文化財受託庫・展望閣を備えた総合博物館として開館しました。その後、近代美術館や水族館の機能を他の施設に移しながら、長く文化財保護・発信の活動に尽力してきましたが、施設の老朽化等の様々な理由により惜しまれつつも平成20年(2008年)4月から休館しています。

文化財は、「保存なくして活用なし」です。国宝・重要文化財の指定件数が全国第4位である滋賀県が開設する新しい琵琶湖文化館では、豊富な文化財を守り未来に伝えていくために必要な機能を第一に据えてまいります。開設にあたって多くの皆様に御尽力いただいたことに感謝するとともに、さらに多くの方々にとって滋賀の文化財の魅力に触れていただける機会となり、貴重な文化財を未来へ継承していく施設となることを目指します。

滋賀県立琵琶湖文化館 学芸員一同



琵琶湖文化館は、今、再出発の時をむかえています。私たち琵琶湖文化館学芸員の使命は、近江に伝わる貴重な文化財を支え、守り、広げ、未来の世代へ届けることです。百年、千年と受け継がれてきた近江の文化財を未来へ伝えるべく、資料の展示・収蔵機能の充実をはかるとともに、地域に伝わる文化財の保存・継承に焦点を当てる「地域の文化財のサポートセンター」機能を備えた県内の中核的な施設となることを目標としています。

私たちは新しい琵琶湖文化館において、近江で築かれた歴史や受け継がれた文化財が持つ価値を、新たに見いだし発信していきます。来たる開館の日をこころ待ちにしていだけましたら幸いです。

近江の宝を未来へ！

開館へ向けてご支援をお願いします。

- いただいたご寄付は新しい琵琶湖文化館の整備に活用します。
- 右の二次元バーコードを読み取り、滋賀応援寄付(ふるさと納税)のサイトから琵琶湖文化館へ寄付できます。
- 寄付の方法には、ふるさと納税のポータルサイトからの手続きのほか、納付書による寄付があります。

※ふるさと納税ポータルを利用される場合は、寄付金の使いみちのうち、**【14.新しい琵琶湖文化館と共に文化財を次代につなごう】**をお選びください。



「滋賀応援寄付(ふるさと納税)」
(滋賀県HP内)

アクセス

京都方面から

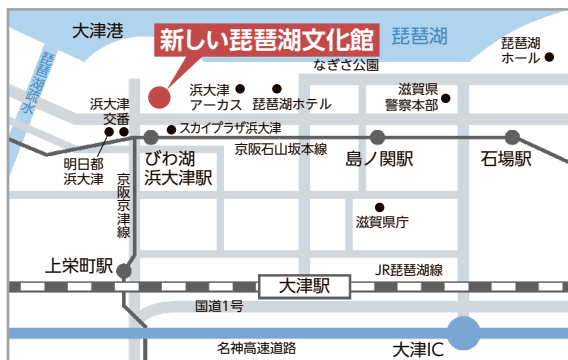
- 京都駅からJR琵琶湖線に乗り大津駅で下車(約10分)、大津駅から徒歩約15分
- 京阪びわ湖浜大津駅から徒歩約3分

大阪方面から

- 大阪駅からJR京都線に乗り大津駅で下車(約40分)、大津駅から徒歩約15分

東京方面から

- 東京駅から東海道新幹線に乗り(約2時間30分)、京都駅乗り換え、大津駅より徒歩約15分



お問い合わせ先

滋賀県文化財保護課 文化財活用推進・新文化館開設準備室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1 TEL 077-528-4681 FAX 077-528-4833

メール bunkatsu@pref.shiga.lg.jp

最新情報はこちら▶



滋賀県HP



X (旧Twitter)